

# 結果の概要

## 1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,392.4千人、「外来」6,865.0千人である。

### (1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,392.4千人について、施設の種類の別みると「病院」1,332.6千人、「一般診療所」59.8千人、性別にみると「男」639.7千人、「女」752.6千人、年齢階級別にみると「65歳以上」931.4千人、「75歳以上」652.3千人となっている。

「外来」6,865.0千人について、施設の種類の別みると「病院」1,727.5千人、「一般診療所」3,828.0千人、「歯科診療所」1,309.4千人、性別にみると「男」2,918.5千人、「女」3,946.4千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,076.8千人、「75歳以上」1,592.3千人となっている。

(表1、統計表1・2)

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人) 平成20年10月

	入院			外来			
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数 (平成17年)	1 392.4 ( 1 462.8 )	1 332.6 ( 1 391.6 )	59.8 ( 71.2 )	6 865.0 ( 7 092.4 )	1 727.5 ( 1 866.4 )	3 828.0 ( 3 948.9 )	1 309.4 ( 1 277.2 )
男	639.7	621.4	18.4	2 918.5	799.9	1 561.8	556.7
女	752.6	711.2	41.4	3 946.4	927.6	2 266.2	752.7
0 歳	11.6	11.2	0.3	64.0	15.0	49.0	-
1 ～ 4	8.4	8.4	0.1	261.6	37.5	205.0	19.1
5 ～ 9	5.6	5.5	0.1	237.0	28.9	144.4	63.7
10 ～ 14	5.8	5.7	0.1	136.1	21.7	84.4	30.1
15 ～ 19	8.0	7.8	0.3	117.3	21.2	65.6	30.6
20 ～ 24	13.0	11.9	1.1	151.5	33.2	80.2	38.0
25 ～ 29	20.5	18.2	2.4	202.1	46.3	106.0	49.9
30 ～ 34	28.0	25.2	2.8	268.8	62.2	138.2	68.3
35 ～ 39	31.4	29.8	1.6	297.1	70.3	150.7	76.1
40 ～ 44	31.6	30.7	0.8	278.5	68.2	136.5	73.8
45 ～ 49	39.5	38.6	1.0	284.7	75.0	137.4	72.3
50 ～ 54	53.4	52.1	1.4	338.0	89.5	162.8	85.8
55 ～ 59	93.5	91.4	2.1	513.9	139.5	251.9	122.4
60 ～ 64	108.3	105.6	2.7	615.6	167.9	313.5	134.3
65 ～ 69	125.8	123.0	2.8	687.3	191.3	361.3	134.7
70 ～ 74	153.2	148.4	4.8	797.2	216.9	453.7	126.6
75 ～ 79	184.6	177.5	7.2	733.4	203.1	436.3	94.0
80 ～ 84	186.0	176.3	9.7	508.6	142.6	311.5	54.4
85 ～ 89	149.5	140.1	9.5	240.6	66.3	152.5	21.9
90歳以上	132.1	123.2	9.0	109.8	28.2	71.0	10.6
不詳	2.3	2.2	0.2	21.9	2.9	16.2	2.8
(再掲)							
65歳以上	931.4	888.4	43.0	3 076.8	848.4	1 786.2	442.2
70歳以上	805.5	765.4	40.1	2 389.5	657.1	1 424.9	307.5
75歳以上	652.3	617.0	35.3	1 592.3	440.2	971.2	180.9

注：( )内は、平成17年10月の数値である。

施設の種別別に年次推移をみると、入院では、病院は平成8年からほぼ横ばいであったが平成20年は減少しており、一般診療所は昭和59年から減少傾向にある。外来では、病院、一般診療所ともに平成20年は減少しており、歯科診療所は平成14年から増加傾向にある。(図1、統計表1・2)

年齢階級別にみると、入院、外来ともに、「75歳以上」を除く「0～14歳」「15～34歳」「35～64歳」「65歳以上」の各年齢階級で平成20年は減少している(図2、統計表1・2)。

図1 施設の種別別にみた推計患者数の年次推移

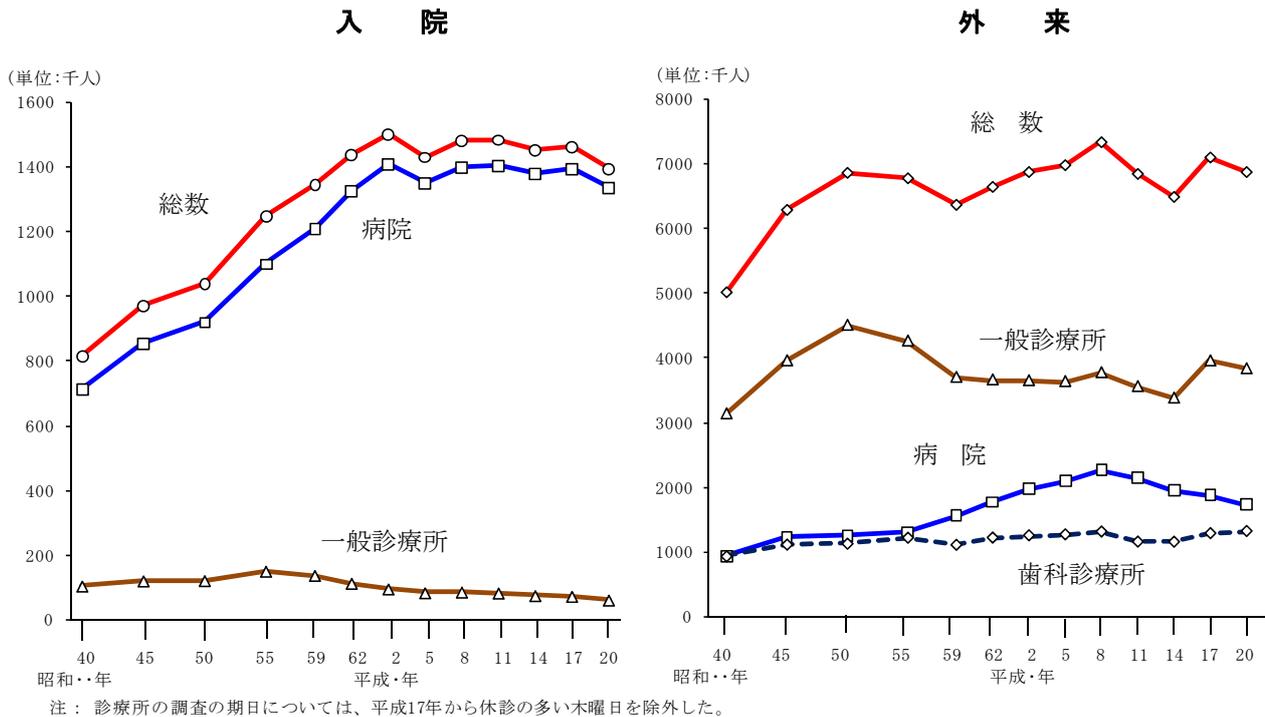
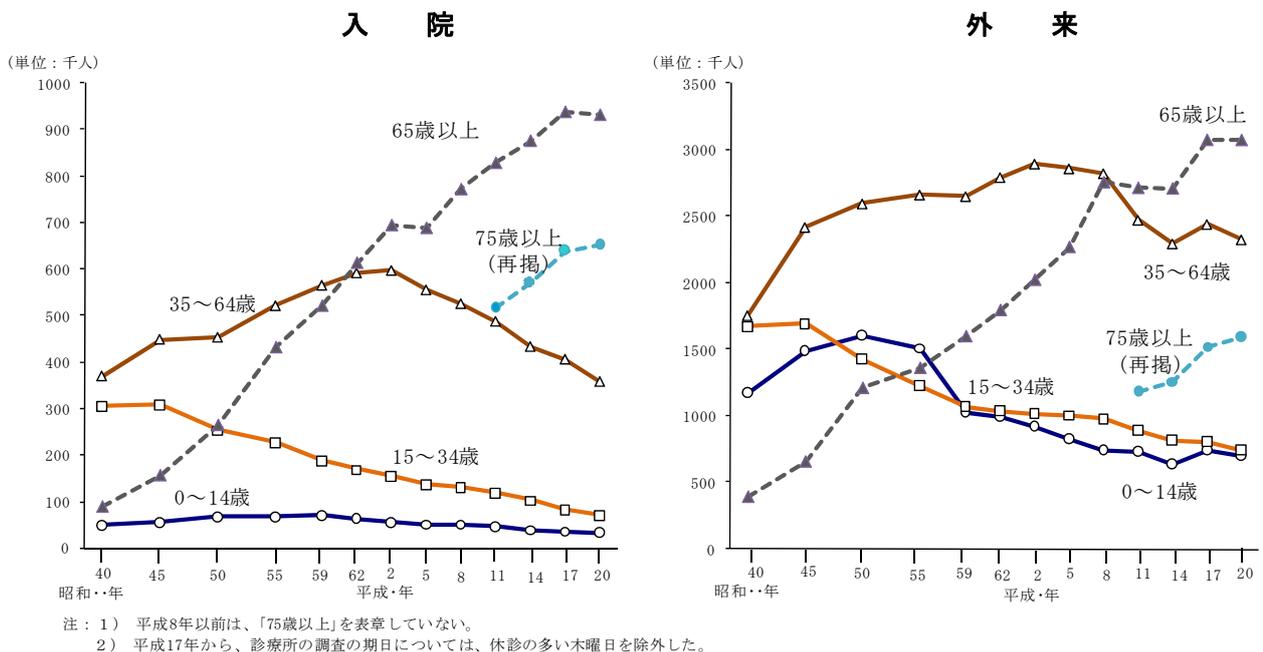


図2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



## (2) 傷病分類別

### ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、平成17年に比べ全体的に減少傾向にあるが、多い順に「V 精神及び行動の障害」301.4千人、「IX 循環器系の疾患」280.3千人、「II 新生物」159.2千人となっている。病院では、「V 精神及び行動の障害」299.5千人、「IX 循環器系の疾患」267.0千人、「II 新生物」155.8千人の順となっている。一般診療所では、「IX 循環器系の疾患」13.3千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」9.5千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」7.7千人の順となっている。(表2、統計表3・4)

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計入院患者数

傷病分類		推計入院患者数					
		総数		病院		一般診療所	
		平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年
総数		1 392.4	1 462.8	1 332.6	1 391.6	59.8	71.2
I	感染症及び寄生虫症	24.6	27.2	23.9	25.9	0.6	1.3
	結核 (再掲)	4.6	6.1	4.6	6.1	0.0	0.0
	ウイルス肝炎 (再掲)	3.3	4.6	3.0	4.1	0.3	0.5
II	新生物	159.2	169.8	155.8	164.6	3.4	5.2
	胃の悪性新生物 (再掲)	17.1	18.8	16.7	18.4	0.4	0.4
	大腸の悪性新生物 (再掲)	19.6	19.4	19.1	18.9	0.5	0.5
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	9.8	11.2	9.5	10.2	0.3	1.0
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.3	20.3	20.1	20.1	0.2	0.3
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.9	5.7	5.6	0.2	0.3
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	36.9	39.7	34.9	36.7	2.0	3.0
	糖尿病 (再掲)	26.2	30.3	24.7	28.0	1.5	2.4
V	精神及び行動の障害	301.4	326.2	299.5	323.3	1.9	2.9
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	44.4	54.0	43.3	52.6	1.1	1.5
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	187.4	198.9	187.3	198.7	0.1	0.2
VI	神経系の疾患	105.4	97.3	102.4	93.9	3.0	3.4
VII	眼及び付属器の疾患	10.3	12.7	9.4	11.6	0.9	1.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	2.7	3.0	2.5	2.8	0.2	0.2
IX	循環器系の疾患	280.3	318.7	267.0	302.5	13.3	16.2
	高血圧性疾患 (再掲)	8.7	11.6	6.8	9.3	2.0	2.3
	心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.2	60.2	55.5	57.3	2.6	2.9
	脳血管疾患 (再掲)	199.4	233.6	192.0	223.5	7.4	10.2
X	呼吸器系の疾患	83.8	78.7	80.8	74.7	3.0	4.0
	喘息 (再掲)	5.7	8.7	5.2	8.1	0.4	0.6
X I	消化器系の疾患	68.4	72.0	65.5	68.6	2.8	3.4
	歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.8	0.9	0.8	0.9	0.0	0.0
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	10.0	11.7	9.3	10.9	0.7	0.8
	肝疾患 (再掲)	9.8	12.7	9.2	11.9	0.6	0.8
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	12.3	9.5	11.9	9.1	0.4	0.4
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	68.5	68.8	60.8	60.5	7.7	8.3
X IV	腎尿路生殖系系の疾患	47.3	46.2	44.0	42.2	3.3	4.0
X V	妊娠、分娩及び産じょく	19.4	19.0	14.8	14.4	4.6	4.6
X VI	周産期に発生した病態	6.1	6.2	6.0	6.0	0.2	0.1
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	5.7	5.8	5.7	5.7	0.1	0.1
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.8	23.8	17.9	22.5	0.9	1.3
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	125.6	122.5	116.1	113.5	9.5	9.1
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.9	9.8	8.0	7.2	1.9	2.6
	歯の補てつ (再掲)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-

## イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,249.8千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」945.3千人、「IX 循環器系の疾患」894.8千人となっている。

病院では、「IX 循環器系の疾患」273.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」197.8千人、「II 新生物」170.7千人の順となっている。一般診療所では、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」747.5千人、「IX 循環器系の疾患」621.1千人、「X 呼吸器系の疾患」537.3千人の順となっている。（表3、統計表5・6）

表3 傷病分類別にみた施設の種別推計外来患者数

傷病分類		推計外来患者数							
		総数		病院		一般診療所		歯科診療所	
		平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年
総数		6 865.0	7 092.4	1 727.5	1 866.4	3 828.0	3 948.9	1 309.4	1 277.2
I	感染症及び寄生虫症	194.6	227.5	54.5	66.6	140.1	160.9	.	.
	結核 (再掲)	2.4	3.1	2.0	2.7	0.5	0.4	.	.
	ウイルス肝炎 (再掲)	55.3	79.4	24.8	30.2	30.5	49.3	.	.
II	新生物	218.2	204.6	170.7	161.5	47.5	43.1	.	.
	胃の悪性新生物 (再掲)	21.4	19.3	17.2	15.1	4.2	4.2	.	.
	大腸の悪性新生物 (再掲)	23.5	20.3	20.0	16.8	3.6	3.4	.	.
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	7.3	8.0	5.5	5.4	1.8	2.7	.	.
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	14.6	12.9	12.9	10.9	1.8	2.1	.	.
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22.6	26.4	10.7	11.1	11.9	15.3	.	.
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	360.3	381.5	132.1	139.9	228.1	241.7	.	.
	糖尿病 (再掲)	188.0	202.4	82.2	85.4	105.8	117.0	.	.
V	精神及び行動の障害	232.3	224.5	109.8	111.9	122.5	112.6	.	.
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	12.7	12.0	4.1	4.7	8.7	7.3	.	.
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	66.5	62.9	45.9	45.4	20.6	17.5	.	.
VI	神経系の疾患	133.0	143.2	63.8	68.8	69.2	74.5	.	.
VII	眼及び付属器の疾患	269.3	333.7	56.2	74.9	213.0	258.7	.	.
VIII	耳及び乳様突起の疾患	122.4	114.6	17.6	20.6	104.7	94.0	.	.
IX	循環器系の疾患	894.8	949.5	273.7	287.8	621.1	661.8	.	.
	高血圧性疾患 (再掲)	601.3	644.2	123.9	126.2	477.5	518.0	.	.
	心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	130.3	142.6	73.6	73.5	56.7	69.1	.	.
	脳血管疾患 (再掲)	119.9	122.9	57.4	69.2	62.5	53.7	.	.
X	呼吸器系の疾患	649.3	757.7	112.0	144.9	537.3	612.7	.	.
	喘息 (再掲)	112.9	147.1	32.1	41.6	80.8	105.5	.	.
X I	消化器系の疾患	1 249.8	1 301.4	122.4	136.4	158.7	185.2	968.7	979.9
	歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	966.4	985.9	23.3	27.6	5.9	7.2	937.2	951.2
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	139.6	166.4	45.9	54.8	93.7	111.6	.	.
	肝疾患 (再掲)	36.2	47.9	13.9	18.8	22.3	29.1	.	.
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	252.7	266.6	50.3	57.3	202.4	209.3	.	.
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	945.3	983.1	197.8	225.2	747.5	758.0	.	.
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	288.7	252.0	114.7	116.8	174.0	135.2	.	.
X V	妊娠、分娩及び産じょく	17.1	14.5	7.3	6.8	9.8	7.7	.	.
X VI	周産期に発生した病態	2.6	2.0	2.0	1.6	0.6	0.4	.	.
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	12.9	12.0	9.2	8.6	3.7	3.4	.	.
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	86.5	76.3	48.1	38.1	38.4	38.1	.	.
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	319.3	303.9	107.9	119.6	208.4	181.2	3.1	3.1
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	593.3	517.4	66.7	68.0	188.9	155.1	337.6	294.2
	歯の補てつ (再掲)	302.6	267.5	4.4	5.1	1.6	1.0	296.7	261.4

### (3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では、「精神病床」306.7千人、「療養病床」301.8千人、「一般病床」720.3千人、一般診療所では、「療養病床」16.3千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床では、「II 新生物」146.5千人、「IX 循環器系の疾患」120.6千人、療養病床では、「IX 循環器系の疾患」144.6千人、「VI 神経系の疾患」33.0千人が多くなっている。(表4)

表4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

(単位：千人) 平成20年10月

傷病分類	総数	病院						一般診療所	
		精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	療養病床(再掲)		
総数	1 392.4	1 332.6	306.7	0.0	3.8	301.8	720.3	59.8	16.3
I 感染症及び寄生虫症	24.6	23.9	0.4	0.0	3.5	1.9	18.1	0.6	0.0
結核 (再掲)	4.6	4.6	0.0	0.0	3.3	0.3	1.0	0.0	-
ウイルス肝炎 (再掲)	3.3	3.0	0.0	-	0.0	0.4	2.6	0.3	0.0
II 新生物	159.2	155.8	0.1	0.0	0.0	9.1	146.5	3.4	0.4
胃の悪性新生物 (再掲)	17.1	16.7	0.0	-	0.0	1.0	15.7	0.4	0.1
大腸の悪性新生物 (再掲)	19.6	19.1	0.0	-	0.0	1.3	17.9	0.5	0.1
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	9.8	9.5	0.0	-	-	0.5	9.0	0.3	0.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.3	20.1	0.0	0.0	0.0	0.9	19.2	0.2	0.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.7	0.0	0.0	-	0.6	5.0	0.2	0.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.9	34.9	0.5	-	0.0	10.9	23.5	2.0	0.6
糖尿病 (再掲)	26.2	24.7	0.1	-	0.0	9.0	15.5	1.5	0.5
V 精神及び行動の障害	301.4	299.5	274.3	0.0	0.0	18.4	6.7	1.9	1.1
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	44.4	43.3	28.8	-	0.0	13.5	1.0	1.1	0.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	187.4	187.3	185.3	0.0	0.0	1.4	0.7	0.1	0.0
VI 神経系の疾患	105.4	102.4	27.2	-	0.0	33.0	42.3	3.0	1.5
VII 眼及び付属器の疾患	10.3	9.4	0.0	0.0	-	0.1	9.3	0.9	0.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.5	0.0	-	-	0.1	2.4	0.2	0.0
IX 循環器系の疾患	280.3	267.0	1.7	0.0	0.1	144.6	120.6	13.3	5.8
高血圧性疾患 (再掲)	8.7	6.8	0.1	-	0.0	3.7	3.0	2.0	0.7
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.2	55.5	0.1	0.0	0.0	13.8	41.6	2.6	0.8
脳血管疾患 (再掲)	199.4	192.0	1.5	-	0.0	125.3	65.2	7.4	4.2
X 呼吸器系の疾患	83.8	80.8	0.1	0.0	0.1	15.1	65.5	3.0	0.6
喘息 (再掲)	5.7	5.2	0.0	-	0.0	0.8	4.4	0.4	0.1
X I 消化器系の疾患	68.4	65.5	0.2	0.0	0.0	5.0	60.3	2.8	0.4
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.8	0.8	0.0	-	-	0.0	0.7	0.0	-
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	10.0	9.3	0.0	-	0.0	1.1	8.1	0.7	0.2
肝疾患 (再掲)	9.8	9.2	0.1	-	0.0	1.2	8.0	0.6	0.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	12.3	11.9	0.0	-	0.0	2.3	9.5	0.4	0.1
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.5	60.8	0.1	-	0.0	15.9	44.8	7.7	2.4
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47.3	44.0	0.2	-	0.0	8.8	35.0	3.3	0.8
X V 妊娠、分娩及び産じょく	19.4	14.8	-	-	-	0.0	14.8	4.6	-
X VI 周産期に発生した病態	6.1	6.0	-	-	-	0.0	6.0	0.2	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.7	5.7	0.1	-	-	0.5	5.1	0.1	0.0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.8	17.9	0.6	-	0.0	3.0	14.3	0.9	0.2
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	125.6	116.1	1.0	0.0	0.0	30.6	84.4	9.5	1.8
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.9	8.0	0.1	-	-	1.8	6.1	1.9	0.4
歯の補てつ (再掲)	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	-	-

#### (4) 主傷病・副傷病の状況

主傷病と副傷病（※）を合わせた推計患者数をみると、「高血圧(症)」1,646.1千人、「精神疾患」961.1千人、「高脂血症(脂質異常症)」759.2千人、「糖尿病」742.9千人となっている（表5）。

（※）副傷病とは、主傷病以外で有していた傷病であり、本調査では、糖尿病、肥満、高脂血症、高血圧、虚血性心疾患、脳卒中、閉塞性末梢動脈疾患、大動脈疾患、慢性腎不全、精神疾患のみを把握している。

（新規）

表5 主傷病及び副傷病でみた年齢階級別推計患者数（複数回答）

（単位：千人）

平成20年10月

傷病分類	総数	(参考) 主傷病のみで みた推計患者数	男	女	0～14歳	15～34	35～64	65歳以上	70歳以上 (再掲)	75歳以上 (再掲)	
<b>総数（入院と外来（歯科診療所を除く。）の合計）</b>	<b>6 947.9</b>	<b>6 947.9</b>	<b>3 001.5</b>	<b>3 946.3</b>	<b>617.2</b>	<b>622.5</b>	<b>2 120.8</b>	<b>3 566.0</b>	<b>2 887.5</b>	<b>2 063.8</b>	
主傷病・副傷病 (複数回答)	糖尿病	742.9	214.2	392.9	350.0	1.3	7.5	219.1	513.3	409.6	283.6
	肥満(症)	39.9	1.2	14.5	25.4	0.5	2.2	16.4	20.5	15.7	9.8
	高脂血症(脂質異常症)	759.2	118.9	283.3	475.9	0.5	7.0	240.0	509.7	401.7	272.5
	高血圧(症)	1 646.1	610.1	717.6	928.6	1.1	7.7	399.1	1 234.1	1 031.0	770.3
	虚血性心疾患	405.8	86.8	190.0	215.8	0.6	1.7	64.0	338.5	296.8	237.2
	脳卒中	463.5	295.0	210.6	252.9	0.3	1.4	63.0	397.7	356.3	293.9
	閉塞性末梢動脈疾患	108.9	10.9	58.3	50.6	0.1	0.8	23.8	83.9	70.0	52.8
	大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤)	34.6	6.9	20.2	14.4	0.3	0.5	5.7	28.0	24.8	19.6
	慢性腎不全(慢性腎臓病)	213.1	151.1	123.0	90.1	0.4	3.5	75.4	133.4	105.2	76.5
	精神疾患	961.1	600.5	418.5	542.5	18.4	91.1	364.9	484.8	402.0	314.6
<b>入院</b>	<b>1 392.4</b>	<b>1 392.4</b>	<b>639.7</b>	<b>752.6</b>	<b>31.4</b>	<b>69.6</b>	<b>357.6</b>	<b>931.4</b>	<b>805.5</b>	<b>652.3</b>	
主傷病・副傷病 (複数回答)	糖尿病	228.7	26.2	114.9	113.8	0.2	2.0	53.7	172.5	146.0	112.3
	肥満(症)	5.8	0.2	2.2	3.6	0.1	0.4	2.6	2.8	2.2	1.5
	高脂血症(脂質異常症)	111.5	0.4	48.0	63.5	0.2	1.5	33.0	76.6	63.7	48.6
	高血圧(症)	373.5	8.7	160.9	212.6	0.4	1.6	59.0	311.9	278.9	232.8
	虚血性心疾患	146.7	18.9	64.9	81.8	0.2	0.5	17.8	127.8	116.5	99.6
	脳卒中	265.1	189.7	114.3	150.8	0.2	0.6	30.7	233.0	214.0	184.6
	閉塞性末梢動脈疾患	26.3	3.3	14.1	12.2	0.0	0.1	3.6	22.5	20.1	16.4
	大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤)	13.9	3.8	7.4	6.5	0.0	0.1	1.7	12.2	11.1	9.3
	慢性腎不全(慢性腎臓病)	59.9	25.8	29.9	30.0	0.1	0.4	10.3	48.8	42.9	35.2
	精神疾患	527.9	332.8	241.4	286.5	3.2	26.0	190.0	307.8	254.8	200.7
<b>外来(歯科診療所を除く。)</b>	<b>5 555.5</b>	<b>5 555.5</b>	<b>2 361.8</b>	<b>3 193.7</b>	<b>585.8</b>	<b>552.9</b>	<b>1 763.2</b>	<b>2 634.6</b>	<b>2 082.0</b>	<b>1 411.4</b>	
主傷病・副傷病 (複数回答)	糖尿病	514.2	188.0	278.0	236.2	1.1	5.5	165.4	340.8	263.6	171.4
	肥満(症)	34.1	1.0	12.3	21.8	0.4	1.8	13.8	17.8	13.5	8.3
	高脂血症(脂質異常症)	647.7	118.5	235.4	412.4	0.4	5.5	207.0	433.1	338.0	223.9
	高血圧(症)	1 272.7	601.3	556.7	716.0	0.7	6.1	340.1	922.2	752.1	537.5
	虚血性心疾患	259.2	68.0	125.2	134.0	0.3	1.2	46.1	210.7	180.3	137.5
	脳卒中	198.4	105.3	96.3	102.1	0.1	0.7	32.3	164.7	142.3	109.3
	閉塞性末梢動脈疾患	82.6	7.6	44.2	38.4	0.1	0.7	20.2	61.4	49.9	36.4
	大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤)	20.7	3.1	12.8	7.9	0.3	0.4	4.0	15.8	13.7	10.3
	慢性腎不全(慢性腎臓病)	153.2	125.2	93.1	60.1	0.3	3.0	65.0	84.5	62.3	41.2
	精神疾患	433.2	267.7	177.2	256.0	15.2	65.0	174.9	177.0	147.2	113.9

注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「主傷病・副傷病(複数回答)」とは、主傷病または副傷病として各傷病を有する者をいう。

3) 「精神疾患」とは、アルツハイマー病を含む認知症、精神作用物質による精神及び行動の障害、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害、てんかん、その他の精神及び行動の障害をいう。(「精神遅滞」は含まれていない。)

## (5) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は98.7千人であり、これを施設の種類別にみると、「病院」11.0千人、「一般診療所」62.4千人、「歯科診療所」25.3千人となっている。

在宅医療の種類別にみると、総数では「往診」28.8千人、「訪問診療」56.8千人、「医師・歯科医師以外の訪問」13.2千人となっている。(表6)

**表6 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数**

(単位：千人) 平成20年10月

	推計外来患者数	( 総 数 )				( 病 院 )				(一般診療所)				( 歯科診療所 )		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
<b>総 数</b>	<b>6 865.0</b>	<b>98.7</b>	<b>28.8</b>	<b>56.8</b>	<b>13.2</b>	<b>11.0</b>	<b>4.1</b>	<b>4.1</b>	<b>2.8</b>	<b>62.4</b>	<b>24.7</b>	<b>34.6</b>	<b>3.1</b>	<b>25.3</b>	<b>18.1</b>	<b>7.3</b>
(平成17年)	(7 092.4)	( 64.8)	( 24.5)	( 34.5)	( 5.9)	( 12.6)	( 5.4)	( 4.7)	( 2.5)	( 49.4)	( 19.1)	( 27.2)	( 3.2)	( 2.8)	( 2.6)	( 0.2)
0～14歳	698.7	0.9	0.5	0.3	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.3	0.3	0.0	-	-	-
15～34	739.7	2.2	1.6	0.3	0.2	0.5	0.3	0.1	0.1	1.6	1.3	0.2	0.1	0.1	0.1	-
35～64	2 327.8	8.8	4.2	2.9	1.7	2.5	1.1	0.3	1.1	5.2	3.1	1.6	0.5	1.0	0.9	0.1
65歳以上	3 076.8	86.6	22.3	53.1	11.2	7.7	2.5	3.7	1.6	54.7	19.8	32.4	2.4	24.2	17.0	7.2
(再掲)																
70歳以上	2 389.5	82.7	20.7	51.4	10.5	7.1	2.2	3.5	1.4	52.3	18.6	31.4	2.3	23.3	16.4	6.9
75歳以上	1 592.3	76.3	18.7	48.3	9.2	6.4	1.8	3.3	1.2	47.8	16.9	29.0	2.0	22.1	16.0	6.1

注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「往診」とは、患家(介護老人保健施設等を含む)の求めに応じて患家に赴いて診療するものをいう。

3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患家(介護老人保健施設等を含む)に赴いて診療を行うものをいう。

4) 「医師・歯科医師以外の訪問」「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

5) ( ) 内は、平成17年10月の数値である。

## (6) 救急の状況

救急患者数は、「入院」196.4千人、「外来」19.4千人となっている。これを施設の種類別にみると、入院では、「病院」193.2千人、「一般診療所」3.1千人、外来では、「病院」17.3千人、「一般診療所」2.1千人となっている。救急の状況別にみると、入院では、「救急車により搬送」120.5千人、「救急外来を受診」98.1千人、「診療時間外を受診」78.7千人、外来では、「救急車により搬送」5.4千人、「救急外来を受診」10.8千人、「診療時間外を受診」11.5千人となっている。(表7)

**表7 救急の状況別にみた推計患者数(複数回答)**

(単位：千人) 平成20年10月

	総 数 推計患者数 (千人)		救 急(複数回答)								救 急 以 外	
			総 数(千人)		救急車により搬送		救急外来を受診		診療時間外を受診			
	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合			
入 院	1 392.4	100.0%	196.4	14.1%	120.5	8.7%	98.1	7.0%	78.7	5.7%	1 196.0	85.9%
(平成17年)	(1 462.8)	(100.0%)	( 196.7)	(13.4%)	( 122.3)	(8.4%)	( 91.2)	(6.2%)	( 89.1)	(6.1%)	(1 266.1)	(86.6%)
病 院	1 332.6	100.0%	193.2	14.5%	119.1	8.9%	98.0	7.4%	77.0	5.8%	1 139.4	85.5%
一般診療所	59.8	100.0%	3.1	5.2%	1.4	2.3%	0.1	0.2%	1.8	2.9%	56.6	94.8%
外 来	5 555.5	100.0%	19.4	0.3%	5.4	0.1%	10.8	0.2%	11.5	0.2%	5 536.1	99.7%
(平成17年)	(5 815.2)	(100.0%)	( 57.4)	(1.0%)	( 16.8)	(0.3%)	( 28.9)	(0.5%)	( 35.2)	(0.6%)	(5 757.8)	(99.0%)
病 院	1 727.5	100.0%	17.3	1.0%	5.0	0.3%	10.5	0.6%	9.9	0.6%	1 710.2	99.0%
一般診療所	3 828.0	100.0%	2.1	0.1%	0.4	0.0%	0.3	0.0%	1.6	0.0%	3 825.9	99.9%

注：1) 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まれていない。

2) 「救急車により搬送」とは、救急車で搬送され受診したものをいう。

3) 「救急外来を受診」とは、救急外来窓口を経由して受診したものをいう。

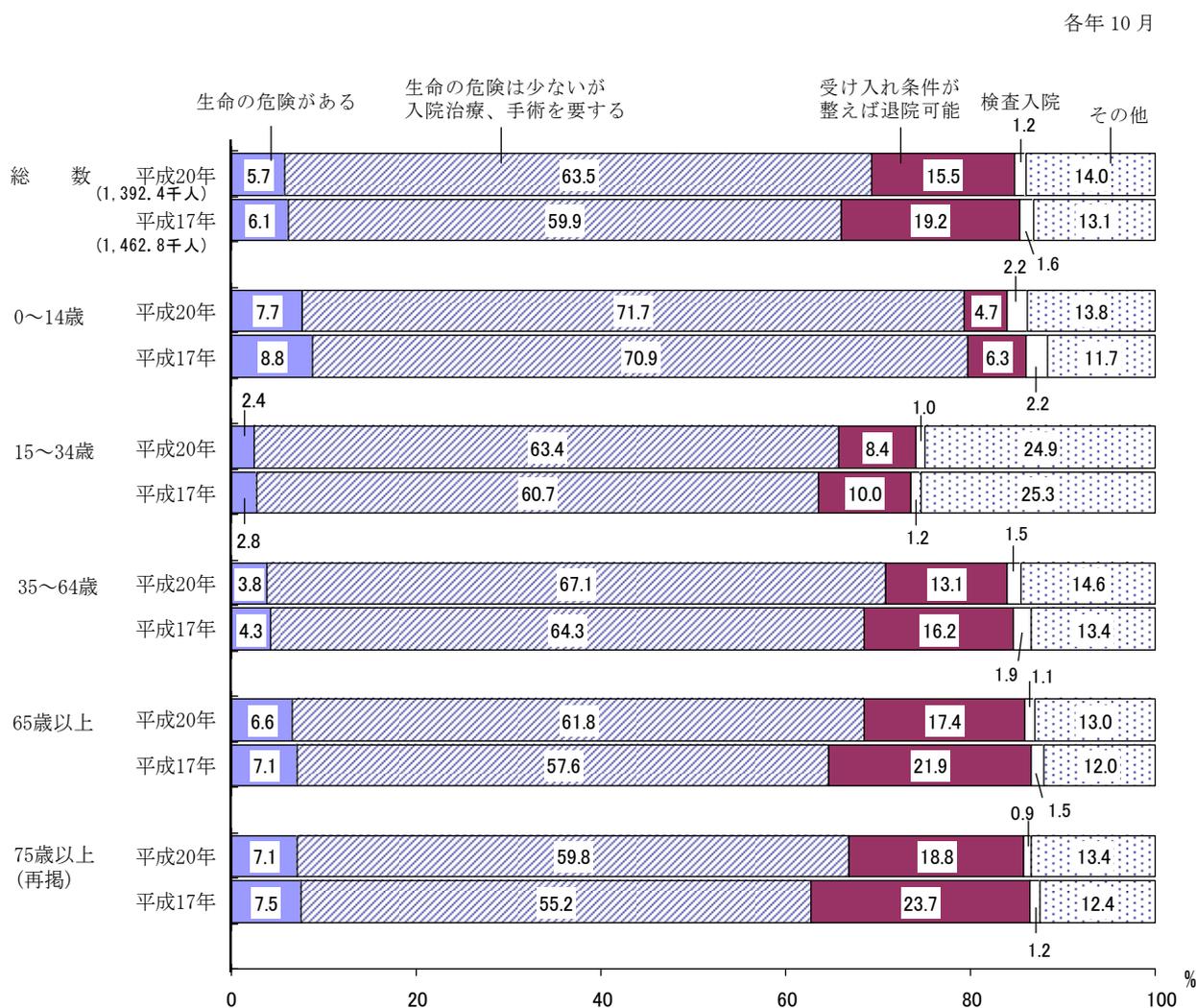
4) 「診療時間外を受診」とは、医療施設が表示する診療時間外に受診したものをいう。

5) ( ) 内は、平成17年10月の数値である。

### (7) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況をみると、「生命の危険がある」5.7%、「生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する」63.5%、「受け入れ条件が整えば退院可能」15.5%、「検査入院」1.2%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い多くなっているが、いずれの年齢階級でも平成17年より少なくなっている。（図3）

図3 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。  
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する」には、退院が決定している患者を含む。  
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。  
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。  
 5) 「その他」とは、上記以外の場合の入院患者をいう。  
 6) ( ) 内は、推計入院患者数である。